

手稲区は今年ではたち
手稲区 区制
20周年記念事業
 20th Anniversary

はぐくんでいこう
 “ていね”らしさ

たのしく広げよう
 “ていね”の輪

ちいさな思いやり
 未来の“ていね”へ

ペットボトルのふたを用いて
モザイク画を制作します



先月号に引き続き、手稲区区制20周年記念事業のお知らせです。3つのスローガンのもとに行う記念事業の中で、ちいさな思いやり、未来の“ていね”へに関連する事業、ペットボトルのふたを用いたモザイク画制作についてご紹介します。

デザインは手稲山

描くのは、前田森林公園から見る手稲山の風景です。この風景を使い終わったペットボトルのふたで表現します。

ご協力をお願いします

そこで、材料となるペットボトルのふたの収集にご協力をお願いします。回収方法等は次号で詳しくご案内しますので、それまでご家庭でふたを捨てずに集めておいてください。

ペットボトル本体とふたの分別を徹底することにより、中沼や駒岡の資源選別センターで手作業で行われている仕分け作業の軽減にもつながります。



ちいさな思いやり、未来の“ていね”へ

最近ではペットボトルのふたを集め、リサイクル業者に売却し、その利益でポリオワクチンなどを購入し世界の子どもたちに届けるという運動が行われています。

そこで手稲区区制20周年記念事業として、ペットボトルのふたを回収し、区民みんなでモザイク画を制作するとともに、回収したふたを関係団体へ寄付し世界の子どもたちのために役立てます。

この事業を機会として、一人一人が環境問題をより身近なものとしてとらえ、地域への愛着や人への思いやりを持つことを再認識し、未来を担う子どもたちに素晴らしいまち「手稲」を残すきっかけになると考えています。



詳細 手稲区区制20周年記念事業実行委員会事務局：地域振興課地域活動担当 ☎681-2400 (内線254)

ウオッチング
ていね

平成21年手稲区成人式(1/12)

1,126人の新成人が手稲区体育館で行われた式典に参加しました。会場では、10年前に描いた「小学生の夢 10年後のわたしたちのまち、こうだといいなあ〜」の絵が返還されました。



▲壇上で成人の抱負を述べました。



▶晴れ着姿で友人と記念の一枚。

◀▼10年前に描いた自分の作品と懐かしの対面。

